



仲井宗基監督（右）を囲み、ミーティングを行う  
八学光星ナイン＝7日、大阪府吹田市内

### 智弁（奈良）戦へ情報収集

### 光星ナイン、1日休養

6日の甲子園1回戦で誉（愛知）に快勝した青森県代表の八学光星は7日、練習を行わず、大阪府内の宿舎で休養した。ナインは2回戦（12日）で激突する智弁学園（奈良）の情報収集に努めた。

ホテルの一室で行われたミーティングでは、仲井宗基監督が智弁学園の特徴を「奈良大会では失点が多く、投手力に不安がある。打線は積極的に振ってくるが、隙もある」と指摘。引き続きナインは約2時間にわたって、各選手の癖や弱点などを映像で細かくチェックし、対策を検討した。

光星は今年3月に智弁と練習試合を行い、主力メンバー同士のカードは5-6で敗れたという。それでもナインに苦手意識はない様子。武岡龍世主将は「右投手、左投手共に内角に迫る

変化球がある。しっかりと見極めていた。光星ナインは8日に練習を再開。同日は、大阪府高

槻市内の球場で午後1時から調整に汗を流す。  
（林泰輔）